

日本脈管学会機関誌『脈管学』の完全オンライン化について

日本脈管学会
理事長 重松 宏

日本脈管学会では、2012年より機関誌「脈管学」をペーパーレス、オンライン化することを先の理事会において決定いたしました。

2012年からは独立行政法人科学技術振興機構 (Japan Science and Technology Agency; JST) が運用する科学技術情報発信・流通システム「J-STAGE」にて論文を公開する予定です。

会員各位への学会からのご案内は、ホームページおよび年に数回発行予定のニュースレターにてお知らせする予定です。

また、今秋よりこれまで郵送にて行っていた論文投稿・査読を、オンラインシステム (Editorial Manager[®]) に移行いたします。移行後の論文投稿はオンラインシステムにより行ってくださるようお願いいたします。

機関誌をペーパーレス、オンライン化する利点：

- 紙媒体を用いないことにより、採用決定から論文公開までの期間が短縮でき、また高額な特殊印刷(カラー印刷)を行わないため、著者負担なしで必要な図表をカラー化できる。
- 論文ごとにデジタルオブジェクト識別子 (digital object identifier ; DOI) が付加され、国内の多くの科学論文を収載している J-STAGE に接続させることで、情報発信が促進される。
- 論文情報の検索機能が利用できる。
- 紙媒体の印刷、製本、郵送工程の廃止により、費用削減や資源の節約ができる。

以上、会員諸兄の御協力を宜しくお願い申し上げます。